

令和5年(2023年)7月20日

保護者様

城陽市立東城陽中学校
校長 北村 伸二

通知表について

盛夏の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、本校教育にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、本日第1学期の終業式を終え、お子様に通知表を渡しました。「学習の手引き」と下記の通知表のねらいや見方についての説明をお読みいただき、ご確認ください。この通知表を通して、今後お子様がさらに健やかに成長されますよう家庭と学校が手を携えて支援できればと考えています。今学期のお子様のがんばりを保護者の方からも大いにほめていただき、また課題についてはその克服に向けてしっかり励ましていただくようお願いいたします。

記

1 通知表のねらい

通知表は、生徒一人一人について各教科等の学習過程やその成果及び学校での様子などを学期ごとにまとめて保護者にお伝えするとともに、生徒自身が学校での学習や生活の進歩の状況を確認することによって、今後の努力点を見付けたり、意欲を喚起していくためのものです。

2 通知表の内容と説明

(1) 学習の状況について

ア 教科の学習状況

(ア) 「観点別学習状況」

生徒一人一人の学習状況を、観点の目標に照らしてどの程度達成したかを評価したものです。表記方法と規準は、次のとおりです。

十分満足できる・・・「A」、おおむね満足できる・・・「B」、努力を要する・・・「C」

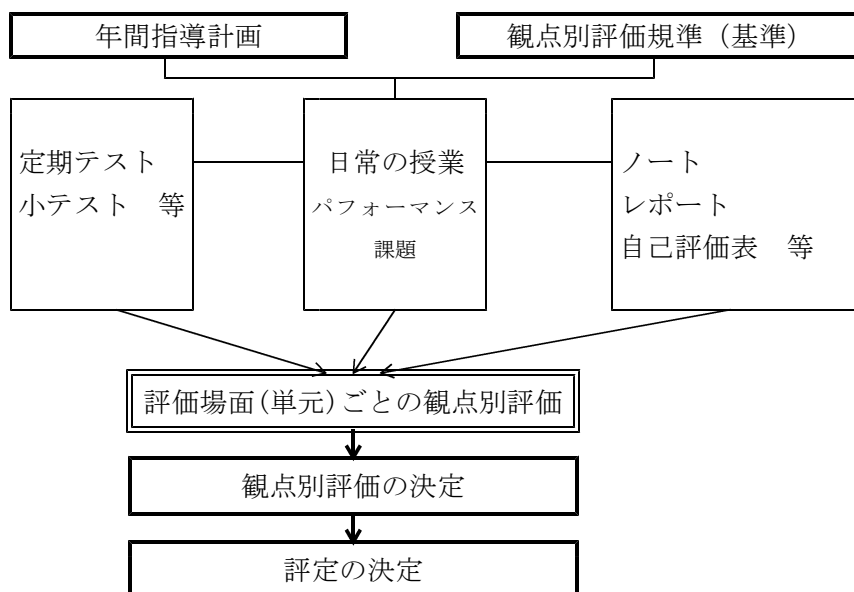
なお、評価の方法に関しては、定期テストだけでなく、日常の授業での発言や取組の様子、提出物、ノートやレポートの内容、パフォーマンス課題、小テスト、作品やその製作過程、実技やその練習過程等において、各教科の特性に応じた多面的な評価方法をとっています。

(イ) 「評定」

上記の「観点別学習状況」を総括的にみて、一定の規準のもとに「評定」を付けています。その関係は、次のとおりで、観点個々の「評定」への総括の比重は均等に扱っています。評価の各観点と評価の対象とする主な事項については「学習の手引き」をご覧ください。

観点別学習状況	規 準	評定
「A」(十分満足できる)	十分満足できると判断されるもののうち、特に程度が高いもの	5
	十分満足できると判断されるもの	4
「B」(おおむね満足できる)	おおむね満足できると判断されるもの	3
	努力を要すると判断されるもの	2
「C」(努力を要する)	一層努力を要すると判断されるもの	1

なお、評定は一定の比例配分によるものではなく、一人一人の生徒が教科の目標に達しているかどうかを重視したものです。(「目標に準拠した評価(いわゆる絶対評価)」)



(2) 総合的な学習の時間

この欄には、「総合的な学習の時間」についての所見を学期ごとに記述します。各学年の主な学習内容と時間数は、次のとおりです。

- ・ 1年生：「人間のすがた」（自律、集団生活、福祉・共生、防災・国際理解） 年間35時間
- ・ 2年生：「人間の生き方」（職業、自然） 年間35時間
- ・ 3年生：「人間の未来」（進路・将来） 年間35時間

なお、上記以外に、1年では「学習の深化」として年間15時間を音楽と美術で、2年生では年間35時間を数学で、また3年生については、年間35時間を国語で、それぞれ「総合的な学習の時間」の活用を行っています。

(3) 所見

生徒一人一人が、学校での学習や生活全般を通して、個人として進歩したことや努力したこと、また期待することなどを学年末に記述します。なお、1・2学期につきましては、三者面談におきましてお伝えいたします。

(4) 特別の教科 道徳

この欄には、「道徳の時間」についての所見を、学年末に記述します。学習状況や成長の様子などを記述しています。

(5) 出欠の記録

授業日数は、学期ごとに授業を行った日数（行事を含む）であり、学期ごとの出席、欠席、遅刻、早退等を記載しています。

ただし、1学期は7月18日現在の出欠状況を記載しております。

7月19日と20日の状況については、2学期の通知表をお渡しする際に、必要に応じて訂正し記載します。

(6) 特別活動の記録

学級活動や生徒会活動で務めた委員や係、所属した部活動を記載しています。

◎今後2学期・3学期の「通知表について」はホームページ・まなびポケットに掲載させていただきます。